

2025 年 3 月 17 日

課題名：同種造血幹細胞移植における CICC と PICC のカテーテル関連事象の比較

◆研究の目的と概要◆

中心静脈カテーテルは高カロリー輸液や抗がん剤などの投与、採血を行うために中心静脈に留置するカテーテルのことです。挿入部位で呼び名が変わり、頸部の血管から留置するカテーテルを中心挿入型中心静脈カテーテル（CICC）と言い、上腕の血管から留置するカテーテルを末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）と言います。当院では、造血器疾患に対して根治を望める治療法である同種造血幹細胞移植における CICC と PICC の有害事象について調べています。本研究では、カテーテル合併症の軽減を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2019 年 1 月から 2024 年 12 月までの間に当院で初回の同種造血幹細胞移植を受けた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、生年月日、疾患の種類、疾患リスク、カテーテル留置日、カテーテル抜去日、カテーテル抜去した原因(感染症、血栓症、閉塞や脱血不良など)、再発確認日、移植前処置、移植した幹細胞の種類、移植日、移植後再発の有無とそれを確認した日、最終転帰、最終転帰確認日、死因。

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2025 年 4 月 15 日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）などからの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

血液内科 研究責任者 奈嶋 美緒

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明